

平成30年度 事業報告

社会福祉法人 野の花学園

1. 総括

平成の時代を締めくくる年となった本年度は、1959年の学園創立から60年という大きな節目の時を目前にして、利用者の安全安心を前提とした利用者支援と安定的経営についてあるべき姿勢を再確認する年度と位置付けた事業に取り組んだ。

この60年を大きく捉えて、前半の30年は昭和の時代であり比較的安定した施設運営が行われてきたのに比べ後半の30年は平成の時代であり、度重なる障害者福祉制度の改革が行われてきた。

中でも、2003（平成15）年4月の「支援費制度」の導入は、従来の「措置制度」から大きく転換されたもので、時代の流れを変えた大きな制度改革と思われる。

措置制度では行政がサービスの利用先や内容などを決めていたが、支援費制度では障害のある方の自己決定に基づきサービスの利用が決まるというものであり、野の花学園にあっても支援のあり方から経営のあり方まで大きな意識改革が求められるもので、顧客意識に基づくサービス業としての側面が強く求められることになった。

競争力も経営力もそれほど必要とされなかった時代から、利用者を選択されるためのサービスや支援の質が問われることになり、今や支援力と経営力なしには障がい者福祉は語れない時代になったとも言える。

事業経営で一番大きな歳出は、福祉の業界では当然のことながら人件費ということになるが、安定した質の高い利用者支援を継続するには、近年の人材難も手伝って利用者支援を支える支援員の確保と人材育成に係る対策が強く求められ、必然的に年々増える人件費の高騰は避けられない。この問題の解決には、経営の基本である経費節減と事業拡大による増収を図る以外の選択肢はなく、いかに経営効率を高めることができるかが問われることになる。

障がい者福祉に係る支援費報酬は、3年ごとに実施されるが、平成30年4月に実施された報酬改定では0.47%の増額改定と発表されたにも拘らず、本法人の本年度決算では、利用者拡大を図って減収対策に努力したにも拘らず大幅な減収になった。

中でも、就労継続支援B型事業と就労移行支援事業の減収が顕著なものであるが、本法人のコア事業収入は報酬改定前の平成29年度17億400万円に比較して報酬改定後の平成30年度は17億8700万円となり104.9%の増収であったにも拘わらず、コア事業の収支差額は平成29年度2億522万円に対し、平成30年度は1億1389万円となり、9133万円の減収となった。

学園創立60周年を記念する施設整備事業として始めた第一野の花学園の建て替え工事は、平成30年3月から本格的な建設工事に着手したが、1年が経過したところでほぼ基礎工事が終了し、いよいよ令和元年に入り建物の外観が姿を見せることになる。

立花高校との連携事業として教育と福祉関係者注目の事業として平成26年度にスタートしたキャリアワーク立花は、開設から5年目となる本年度3月を以って事業継続にピリオドを打つことになった。この事業の受け皿として本年4月から始

めた五灯館大学校基礎課程は、1年を経過したところで、キャリアワーク立花と同じ自立訓練でありながら、大学校という名称と天神という立地条件から利用者ニーズは高く順調なスタートを切ることになった。

2. 会議等の開催

(1) 評議員会 年3回(うち、決議省略2回)

評議員8人

林 宗一、小谷広幸、高須賀 徹、久保美代子、矢野 徹、
(平成30年6月28日就任) 三好正信、田島敬悟、小林秀幸
(平成30年6月27日退任) 鈴木大輔

(1) 定時評議員会：平成30年6月28日(木) 11:00

会 場：ホテルニューオータニ博多

出席者：評議員8人中8人、理事7人中3人、監事2人中2人

議事録署名人：福田 量、小谷広幸、高須賀 徹

〔協議〕

第1号議案 平成29年度事業報告の件

第2号報告 平成29年度収支決算(案)及び監査報告の件

第3号議案 定款変更の件

第4号議案 役員及び評議員の報酬等に関する規程改正の件

第5号議案 社会福祉充実計画の件

(2) 第2回評議員会：平成30年11月5日(月)

平成30年11月7日(水)

(決議の省略により評議員会の決議があったものとみなされた日)

同意書提出者：評議員8人中8人

議事録作成者：福田 量

〔協議〕

第1号議案 基本財産(第一野の花学園B棟部分)の処分の件

(3) 第3回評議員会：平成31年3月27日(水)

平成31年4月5日(金)

(決議の省略により評議員会の決議があったものとみなされた日)

同意書提出者：評議員8人中8人

議事録作成者：福田 量

〔協議〕

第1号議案 理事選任の件

(2) 理事会 年4回(うち、決議省略1回)

理事7人

福田 量、喜久正和、岩城和代、太田輝幸、津田祐一、白川祐治、
進藤和昭(平成30年10月31日付辞任)

監事2人

菊池武彦、佐藤純子

(1) 第1回理事会：平成30年6月13日(水) 11:00

会 場：ホテル日航福岡

出席者：理事7人中6人、監事2人中2人
顧問1人

議事録署名人：福田 量・菊池武彦・佐藤純子

〔協議〕

1. 平成29年度事業報告の件
2. 平成29年度収支決算（案）及び監査報告の件
3. 定款変更の件
4. 役員及び評議員の報酬等に関する規程改正の件
5. 評議員選任・解任委員会運営細則改正の件
6. 諸規程改正の件
7. 社会福祉法人充実計画の件
8. 評議員欠員補充の件
9. 平成29年度に係る福祉・介護職員処遇改善助成金の件
10. 平成30年度夏季賞与支給の件
11. 平成30年度定時評議員会開催の件
12. 第一野の花学園施設整備の件
13. 児童発達支援センター事業受託の件
14. 松濤園内診療所の件

(2) 第2回理事会：平成30年9月13日（木）17：00

会 場：法人本部会議室

出席者：理事7人中6人、監事2人中1人

議事録署名人：福田 量・佐藤純子

〔協議〕

1. 第一野の花学園施設整備の件
2. 児童発達支援センター施設整備の件
3. 福岡市立なのみ学園指定管理者募集に伴う応募の件
4. 筑紫圏域障害者就業・生活支援センター指定候補者公募の件
5. 就労定着支援事業の件

(3) 第3回理事会：平成30年10月29日（月）

平成30年10月31日（水）

（決議の省略により理事会の決議があったものとみなされた日）

同意書提出者：理事7人中7人

確認書提出者：監事2人中2人

議事録作成者：福田 量

〔協議〕

1. 第一野の花学園のB棟を解体することを評議員会へ提案する件

(4) 第4回理事会：平成31年3月27日（水）11：00

会 場：ホテル日航福岡

出席者：理事6人中5人、監事2人中2人

顧問1人

議事録署名人：福田 量・菊池武彦・佐藤純子

〔協議〕

1. 平成30年度補正予算（案）の件
2. 平成31年度事業計画（案）の件
3. 平成31年度収支予算（案）の件
4. 理事の辞任並びに選任候補者の件
5. 第一野の花学園隣接農地取得の件
6. 第一野の花学園指定相談事業所開設の件
7. キャリアサポート天神（仮称）開設の件
8. キャリアワーク立花事業休止の件
9. 志摩日々菜々の件
10. 松濤園内診療所の件
11. 野の花学園創立60周年記念事業の件
12. 児童発達支援センター開設の件（紙上協議）
13. 事業所定員増員の件（紙上協議）
14. 野の花富楽和の件（紙上協議）
15. ふよう学園並びになのみ学園給食外部委託の件（紙上協議）
16. 諸規程改正の件（紙上協議）
17. 第二野の花学園寝具に係る賃貸借契約の件（紙上協議）
18. 第二野の花学園空調設備更新の件（紙上協議）
19. 評議員会決議省略の件（紙上協議）

(3) 評議員選任・解任委員会 年1回

外部委員：横尾和彦、監事：佐藤純子、事務局委員：安元照貴、堤 正直

(1) 平成30年6月13日（木）14：00 ホテル日航福岡

出席者：委員4人中4人、役員1人

議事録署名人：横尾和彦、佐藤純子、安元照貴、堤正直

[協議]

1. 評議員辞任及び欠員に伴う新評議員選任の件

(4) 会計監査・業務監査（年5日）

監事 菊池武彦、佐藤純子

平成30年4月28日（土）第二学園拠点

5月 3日（木）ふよう学園、なのみ学園、就業（野の花）、
キャリアサポ福岡、立花拠点

5月 5日（土）第一学園、志摩日々菜々（1日目）、富楽和拠点

5月 7日（月）第三、ちくぜん、まどか・ゆいぱる、就業（ちくぜん）

5月12日（土）第一学園、志摩日々菜々（2日目）、本部拠点

3. 新規事業

(1) 第一野の花学園施設入所支援棟代替移転改築工事

(1) 設計監理

株式会社IWAKIRI. S. A.（那珂川市今光3-166）

(2) 移転改築工事

①契約金額	654,480,000円
追加契約金額	263,520,000円
合計	918,000,000円

- ②工期 平成28年12月1日～令和2年8月31日（延長）
- ③落札（施工）業者
株式会社東部産業（福岡市東区原田1丁目1番21号）

(3) 入札参加状況

11社案内中、5社参加

商号又は名称	商号又は名称
○ 株式会社へいせい	○ 松井建設株式会社 九州支店
○ 株式会社東部産業	株式会社百田工務店
株式会社内藤工務店	株式会社谷川建設
株式会社奥村組 九州支店	株式会社旭工務店
○ アスミオ. 株式会社	松尾建設株式会社 福岡支店
○ 梅林建設株式会社 福岡支店	

※○印は参加業者

(4) 発掘調査について

平成29年7月21日に2回目の試掘調査を行った結果、発掘の範囲が確定した。

- ①遺跡名 今津古墳群A群・今津A遺跡
- ②調査対象面積 403㎡
- ③調査期間 平成29年10月～11月

(2) 第一野の花学園施設入所支援棟代替移転改築工事（空調換気設備工事）

(1) 設計監理

株式会社IWAKIRI. S. A.（那珂川市今光3-166）

(2) 空調換気設備工事

- ①契約金額 44,604,000円
- ②工期 平成28年12月15日～（調整中）
- ③契約（施工）業者

東テック株式会社（福岡市博多区榎田2丁目1番18号）

(3) 契約の承継

東テック株式会社は、旧・株式会社ディー・エス・テックと合併のうえ事業承継をしたため、当該会社と契約を改めて締結した。

(3) 児童発達支援センター物件取得

(1) 売買契約日 平成30年8月27日

(2) 売主 福岡市

(3) 所在地 福岡市西区今津字松葉731番地5

家屋 1棟 1階 247.01㎡
2階 85.57㎡
土地 1筆 783.76㎡

（ただし、土地については売主側の擁壁工事の施工の関係上、施工後に所有権移転の予定）

(4) 児童発達支援センター改修工事

(1) 設計監理

株式会社IWAKIRI. S. A. (那珂川市今光3-166)

(2) 改修工事

- ①契約金額 97,200,000円
- ②工期 平成30年11月30日～平成31年4月30日
- ③施工業者 コスモ建設株式会社 (福岡市東区原田1丁目1番21号)

(5) 第一野の花学園隣接農地

- (1) 売買契約日 平成31年3月28日
- (2) 売主 木下 タイ
- (3) 所在地 福岡市西区今津字口戸1535番7
土地(畑)1筆 707.00㎡

4. 実施事業等

(1) 第一種社会福祉事業

(1) 障害者支援施設 第一野の花学園

①日中活動支援:

生活介護(定員60名)、自立訓練(定員10名)、就労継続B型(定員24名)、就労移行(定員9名) ※平成29年度から休止中、

②生活支援:

施設入所支援(定員60名)、

③短期入所(定員6名)

(2) 障害者支援施設 第二野の花学園

① 日中活動支援:

生活介護(定員65名)、就労継続B型(定員30名)

②生活支援:

施設入所支援(定員70名)

③短期入所(定員6名)

(3) 救護施設野の花 (定員50名)

(2) 第二種社会福祉事業

(1) 障害福祉サービス事業

①共同生活援助事業

(第一野の花学園グループホーム13か所58名、第六野の花グループホーム1か所17名、グループホーム東4か所9名、フラワー1か所10名)

② 居宅介護事業(ヘルパーステーション野の花)

③ キャリアサポート福岡(五灯館大学校専門課程本校を兼ねる)

(就労移行支援 20名、就労定着支援 利用者数20人以下)

④第三野の花学園(就労継続B型 定員25名、就労移行 定員15名、

就労定着支援 利用者数20人以下)

⑤障害福祉サービス事業所ちくぜん野の花

(就労継続B型 定員10名、就労移行 定員15名、就労定着支援 利用者数

20人以下)

- ⑥福岡市立ふよう学園
(就労継続B型 定員42名、就労移行 定員12名、自立訓練 定員6名)
- ⑦福岡市立なのみ学園
(就労継続B型 定員42名、就労移行 定員12名、自立訓練 定員6名)
- ⑧大野城市障がい者支援センターまどか・ゆいぱる
(就労継続B型 定員10名、生活介護 定員20名)
- ⑨野の花学園キャリアワーク立花(自立訓練 定員10名)主たる事業所
五灯館大学校基礎課程本校 (自立訓練 定員10名)従たる事業所
- ⑩障害児通所支援事業(放課後等デイサービス野の花今津及び姪浜) 定員20名
- ⑪障害児通所支援事業(放課後等デイサービス野の花下大利) 定員10名
- ⑫障害児通所支援事業(放課後等デイサービス第六野の花) 定員10名

(2) 相談支援事業

- ①指定相談支援事業(福岡市西区第2障がい者基幹相談支援センター)
- ②指定相談支援事業(障がい者ライフサポートセンター野の花東)
- ③指定相談支援事業(大野城市障がい者支援センター)
- ④障害者就業・生活支援センター事業
障害者就業・生活支援センター野の花
障害者就業・生活支援センターちくぜん

(3) 地域生活支援事業

- ①移動支援事業(ヘルパーステーション野の花)
- ②日中一時支援事業
(第一野の花学園(定員6名)、第二野の花学園(定員6名))

(3) 公益事業

- (1) 地域生活総合支援センター「支援センター今津」
- (2) 地域生活総合支援センター「支援センター夜須」
- (3) 障害者雇用納付金関係助成金要領における職場適応援助者支援事業(独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構:ジョブコーチ)
- (4) 生の松原特別支援学校放課後等支援事業
(福岡市委託事業:第一学園拠点地区)
- (5) 福岡市西区第2障がい者基幹相談支援センター

(4) その他の事業(委託・補助事業・単独事業等)

- (1) 障害支援区分認定調査事業
- (2) 福岡県障害児等療育支援事業(第二野の花学園)

5. 会議

合同会議

課長職以上の構成で毎月1回を定例とし、平成30年度は9回開催した。

管理者会議

常務理事及び施設長を構成メンバーに毎月1回を定例とし、平成30年度は12回開催した。

経営企画会議

常務理事及び施設長を構成メンバーに毎月1回を定例とし、平成30年度は12回開催した。

6. 人材育成への取り組み

職員としての資質とサービスの質の向上を目的とした内部研修会等を自主企画・実施した。

- (1) 入職式・役職昇格者辞令交付式 平成30年4月7日(土) 9:00於本部
- (2) 新入職員入職時研修会 平成30年4月7日(土) 13:00於本部
参加者20名
- (3) 職員研修会 毎月1~3回 9:00於本部 受講者6~10名/1回あたり
- (4) 野の花学園合同研修会 平成30年9月29(土)~9月30日(日)
於 夜須高原青少年自然の家

※台風の影響により中止

- (5) 永年勤続表彰
30年勤続 濱地美紀
20年勤続 戸宮知子・佐藤利加・天野亮
10年勤続 小野真一郎・市川康則・二俣咲喜子・溝口朗・平尾愛美
川崎あやか・岩田千晶・中牟田聖也・足立由華・福岡愛美
- (6) 職員顕彰授与(国家資格取得)
社会福祉士 大久保絵梨
精神保健福祉士 (該当者無し)
介護福祉士 石田景子・市川ゆきみ

7. 野の花学園後援会との連携

長年にわたり当法人を側面から支援していただいている後援会との連携強化を図り、施設運営についての理解を深めてもらうことに努めた。

- (1) 後援会会員への情報提供
法人の広報紙「野の花だより」に後援会の記事欄を設け、行事案内等を行った。
- (2) 後援会が行う事業への支援
(1) 春のつどい(4月21日(土) 11:10 於 第二野の花学園)
(2) 第5回野の花学園チャリティーゴルフ大会
(11月14日(水) 8:00 於 小郡カントリー倶楽部)

8. 各種団体との連携と参画

法人及び施設の上部組織等を中心に、各種委員会、研修会、行事等へ参加することにより連携を図ることに努めた。

- (1) 日本知的障害者福祉協会
(1) 九州地区知的障害者福祉協会
(2) 福岡県知的障がい者福祉協会
- (2) 福岡県社会福祉法人経営者協議会
- (3) 福岡市民間障がい施設協議会
- (4) 全国地域生活支援ネットワーク